

「機械」が持つ大きな労働力は、現代の人間社会において欠かせないものとなっています。人間が行う作業を「機械」に代替させることで、豊かな社会が実現していると言ってもいいでしょう。洗濯機を例にとります。洗濯機がない時代では、汚れ物を手で洗っていました。石けんといった洗剤を使用したら、それをすすぐのも手作業です。もちろん、水にぬれた洗濯物を脱水するのも手作業でした。洗濯機は、これらの時間も体力も使う作業を全て自動で行ってくれます。

現在では、洗濯のような単純労働だけでなく、人間の脳が行う知的活動をコンピュータに行わせようとする技術、いわゆる人工知能(AI)の技術開発も進んでいます。特に近年、人工知能に関する技術の進展は目覚ましく、様々な分野で人工知能の活躍が期待されています。そこで、以下の設問に対し、あなたの考えをそれぞれ記述してください。

- (1) 人工知能を活用した技術の具体例を一つ挙げて、その技術により私たちの暮らしや社会がどのように豊かになるのかを説明してください。例は、実際にある技術でも、あなたの空想上の技術でもかまいません。(300 字程度)
- (2) 新しい技術を発展させると、その技術の発展によって、私たちの暮らしや社会に何らかの不利益が生じる可能性があります。そこで、前問(1)で挙げた人工知能活用技術の発展によって生じるかもしれない不利益を考えて記述してください。そしてその上で、人工知能とのあるべき向き合い方について、あなたの考えを記述してください。(300 字程度)